

令和5年度「防災スペシャリスト養成」有明の丘研修（第2期） 募集要項

令和5年度「防災スペシャリスト養成」有明の丘研修（第2期）を実施します。なお、演習については、東京湾臨海部基幹的広域防災拠点（有明の丘施設）にて集合形式（対面）で実施します。講義については、引き続きオンラインによるオンデマンド形式で実施します。

1 開催コース、開催日、定員（各コースとも、講義は3週間程度、演習は自主研修含め1日程度で実施）

コース	開催日・対象	定員
①防災基礎	講義：令和5年12月27日(水)～令和6年3月4日(月) ※ 他コースの演習開始までに修了すること 演習：なし（今年度から、演習を廃止） ※ 防災部門のみならず、災害対応に関わることになる職員など、災害対応の基礎を学びたい方を対象とします。 注1：第1期で定員を超過したため、第2期募集は他コースと同時申込の受講者のみを対象とし、防災基礎コース単独の募集はしません。	他コースと 合わせて同時 申込の場合は 受講可能 (注1)
②災害への 備え	講義：令和6年1月29日(月)～2月25日(日) 演習：令和6年2月20日(火) ※ 防災計画等の立案や住民啓発、防災教育、企業防災、災害ボランティアを担当する職員など、平常時の防災対策を実施するための知識や手法を学びたい方を対象とします。	実務 担当 各60名 一般 管理 各60名
③警報避難	講義：令和6年1月29日(月)～2月25日(日) 演習：令和6年2月21日(水) ※ 住民の避難誘導を担当する職員など、情報の収集・分析、避難情報等の発令、避難誘導対策を学びたい方を対象とします。	
④応急活動・ 資源管理	講義：令和6年1月29日(月)～2月25日(日) 演習：令和6年2月22日(木) ※ 応急活動や応援・受援を担当する職員など、物資・活動拠点や外部からの応援といった災害時の資源（人・物・環境）の管理と調整について学びたい方を対象とします。	
⑤被災者支援	講義：令和6年1月22日(月)～2月18日(日) 演習：令和6年2月14日(水) ※ 医療・福祉・保健部門で避難所運営や被災者対応を担当する職員など、被災者支援を実施するために必要となる知識や手法を学びたい方を対象とします。	
⑥復旧・復興	講義：令和6年1月22日(月)～2月18日(日) 演習：令和6年2月13日(火) ※ インフラ整備や都市計画部門で復興を担当する職員や、生活・社会・産業など総合的な復興計画策定等を担当する政策企画部門の職員など、被災自治体に取り組む復旧・復興政策を学びたい方を対象とします。	
⑦指揮統制	講義：令和6年2月5日(月)～3月4日(月) 演習：令和6年2月29日(木) ※ 災害対応における組織の運営や参謀としての役割につく防災担当の幹部の方などを対象とします。	各60名
⑧ 対策立案	講義：令和6年2月5日(月)～3月4日(月) 演習：令和6年2月28日(水) ※ 災害対策本部で発災時に被災状況等を情報収集・分析し、適切な対策を迅速に立案する防災担当の方などを対象とします。	
⑨ 人材育成	講義：令和6年2月5日(月)～3月4日(月) 演習：令和6年2月27日(火) ※ 防災担当の幹部職員など、職員や組織の災害対応能力向上を図るための人材育成プログラムの策定、訓練・研修の効果的な企画・運営の知識や手法を学びたい方を対象とします。	
⑩ 総合監理	講義：令和6年2月5日(月)～3月4日(月) 演習：令和5年3月1日(金) ※ 防災に関する政策立案や、平常時からの災害対応に必要な組織の構築を担う防災担当幹部職員など、総合的な防災政策を実施するための知識や手法を学びたい方を対象とします。	

◆R5年度第1期の演習スケジュールの例(災害への備えコース: R5.10/10(火)9:30~17:30)

《当日のスケジュール》※R5第1期は「②、③、④コースのみ自主研修を実施」

	実務担当	一般管理
9:30~	【演習】 ・オリエンテーション ・ワークショップ	【自主研修】 ・大手コンビニエンスストア 事業者による講義
12:15~	昼休憩	
13:15~	全体交流(質疑応答)	
14:15~	休憩	
14:25~	【自主研修】 ・大手コンビニエンスストア 事業者による講演	【演習】 ・オリエンテーション ・ワークショップ
17:30	終了	

《研修の様子》

<p>【演習】</p>		<p>【実務担当】</p> <p>コースで学びたかったことと今後実施したい災害への備えの対策を議論した。実務担当で議論する対策は、「有効そう」「面白そう」なアイデアを中心に議論した。</p> <p>【一般管理】</p> <p>内容は同上。一般管理で議論する対策は、組織化、組織連携など災害対策を強化するための対策を中心に、単なる取組みだけでなく、みんなを巻き込める対策を議論した。</p>
<p>【全体交流】</p>		<p>【内容】</p> <p>・事前にオンラインで質問を募集し、講師から回答を行い、参加者と議論を行った。 (実務担当、一般管理合同で実施)</p>
<p>【自主研修】</p>		<p>【内容】</p> <p>・大手コンビニエンスストア事業者から防災に取り組む企業からの話題提供を頂き、その内容を踏まえて意見交換を行った。</p>

2 開催場所（演習）

東京都江東区有明3丁目8-35

東京湾臨海部基幹的広域防災拠点（有明の丘施設）

<https://www.tokyorinkai-koen.jp/access/>

3 応募要領

（1）応募方法

以下の URL から応募フォームを開き、必要事項を入力し、送信してください。

https://bousai-ariake.jp/introduction/ariake/introduction_form

- ・防災スペシャリスト養成研修ホームページ(<https://bousai-ariake.jp>) 内の「受講申込」からもフォームにアクセスできます。
 - ・複数コースの受講を希望する場合は、希望するコースをすべて選択してください。
 - ・コースの選択には、以下の「本研修における職位に基づく区分」をご参照ください。
- ※各区分の推奨コースは、他のコースへの応募を妨げるものではありません。

本研修における職位に基づく区分

区分	区分の説明	災害時の役割の例	推奨コース
実務担当	災害対応（復旧・復興、被災者支援を含む）における各班の実務を担当する職員	災害対応組織の班員、関係部局からの支援要員、等	②～⑥
一般管理	災害対応（復旧・復興、被災者支援を含む）における各業務の指揮および活動調整（応援受援業務を含む）を担う、班長等の職員又は将来見込まれる職員	災害対応組織の班長、等	②～⑥
上級管理	災害対応の意思決定や全体指揮にあたる者及び補佐する職員	災害対策本部副本部長、危機管理監、本部員、等	⑦～⑩

- ・②災害への備え、③警報避難、④応急活動・資源管理、⑤被災者支援、⑥復旧・復興に応募する方は、上表を参考に、演習を「実務担当」「一般管理」から選んでください。

（2）「職位別パッケージ」「地域防災マネージャーパッケージ」の応募方法

これまででは、応募者多数のため希望通りに受講できないケースが多かったことから、今年度からは職位に応じ学ぶべきコースを効率的に受講できるよう、複数コースを優先的に受講できる「職位別パッケージ」を設けます。また、自治体の危機管理監など、トップを補佐するポジションの方は、災害対応の実務と組織運営の双方に精通していることが望ましいことから、防災基礎を除く9コースを優先的に受講することができる「地域防災マネージャーパッケージ」を設けます。

パッケージの受講をご希望の方は、以下の URL からパッケージ専用の応募フォームを開き、必要事項を入力し、送信してください。

https://bousai-ariake.jp/introduction/ariake/package_application

- ・防災スペシャリスト養成研修ホームページ(<https://bousai-ariake.jp>) 内の「パッケージ受講申込」からもフォームにアクセスできます。

パッケージ名	定員	パッケージ受講者が優先的に受講できるコース
実務担当 パッケージ	30名	②災害への備え（実務担当）、③警報避難（実務担当）、④応急活動・資源管理（実務担当）、⑤被災者支援（実務担当）、⑥復旧・復興（実務担当）
一般管理 パッケージ	20名	②災害への備え（一般管理）、③警報避難（一般管理）、④応急活動・資源管理（一般管理）、⑤被災者支援（一般管理）、⑥復旧・復興（一般管理）
上級管理 パッケージ	10名	⑦指揮統制、⑧対策立案、⑨人材育成、⑩総合監理
地域防災マネ ージャーパッ ッケージ	15名	②災害への備え（一般管理）、③警報避難（一般管理）、④応急活動・資源管理（一般管理）、⑤被災者支援（一般管理）、⑥復旧・復興（一般管理）、 ⑦指揮統制、⑧対策立案、⑨人材育成、⑩総合監理

※通常枠と同時に申し込むことはできません。

※パッケージ申込では、過去に修了したコース等を受講しない選択も可能ですが、効率的な受講促進の観点から、より多くのコースを受講できる方を優先させていただきます。

※「実務担当」「一般管理」「上級管理」パッケージに申し込まれた方は、対象となる全てのコースを令和5年度第2期で修了していただくようお願いします。

※「地域防災マネージャー」パッケージに申し込まれた方は、各期中に下記のコースを受講していただきます。

R5・第2期：②災害への備え、③警報避難、④応急活動・資源管理、⑤被災者支援、
⑥復旧・復興

R6・第1期：⑦指揮統制、⑧対策立案、⑨人材育成、⑩総合監理

※パッケージ受講者は、各コースの定員に含まれます。

※パッケージはいずれか1つだけ応募できます。

《地域防災マネージャーとは》

- ・内閣府では防災行政実務経験のほか、有明の丘研修における全コースの修了（防災基礎コースを除く）など、各種要件を満たした方について、「地域防災マネージャー」として証明しています。
- ・地方公共団体が「地域防災マネージャー」の証明の交付を受けた外部人材を防災に関する役職（「防災監」「危機管理監」等）に採用・配置する場合、その経費（人件費）については、特別交付税措置の対象となります。

(3) 募集期間

令和5年12月4日（月）13時00分から、12月18日（月）17時00分まで

(4) 必要経費・食事・宿泊

- ・受講料は無料です。
- ・演習参加にかかる交通費は各自でご負担ください。
- ・演習当日の昼食などは各自で準備ください。食事会場は受講者に別途ご案内します。
- ・演習会場である「有明の丘基幹的広域防災拠点施設」には宿泊施設はありませんので、必要な方は各自で手配をお願いします。

(5) 受講者の決定

- ・応募者数が定員を超過した場合は、抽選により受講者を決定します。

- ・受講可否については、募集期間終了後に、事務局からすべての応募者に対し、メールにて通知します。
- ・受講決定者には受講決定通知（ID・パスワードを含む）を送付します。
- ・受講確定後の受講者変更はできません。
- ・キャンセルによる欠員が出た場合でも、再抽選は行いません。
- ・抽選の結果によりコースを受講できない場合でも、講義のみ視聴できる「自由聴講」を希望することが可能です（防災基礎コースを除く）。自由聴講は各コース原則 30 名までとし、希望者多数の場合には抽選にて決定します。自由聴講者は演習に参加できず、修了証も発行されません。

(6) 留意事項

- ・各コースともに全カリキュラムの受講が必須です。一部のみの受講は認めておりません。
- ・講義は、期間中常時視聴可能としておりますが、学習効果の向上やワークライフバランスの観点から、極力、受講者が勤務時間内に研修を受けられますよう、管理職の皆様におかれましては、ご配慮のほどよろしくお願いいたします。

4 応募条件

(1) 所属

本研修は、「危機事態に迅速・的確に対応できる人」「国・地方のネットワークを形成できる人」を求める人材像とし、国、地方公共団体、指定公共機関の職員を対象として開催しております。そのため受講対象者は、①国、②地方公共団体、③指定公共機関、の嘱託職員や外部委託事業者等を除く職員（防災・危機管理所管部署に限定しない）とします。

(2) 防災基礎コースの修了

防災基礎コースは、活動の前提となる、法律・計画・制度等の知識を学ぶコースであることから、防災基礎以外の9コースを申し込む方は、事前に防災基礎コースを修了していることを条件とします。

また、令和5年度及び令和6年度※は移行期間として、防災基礎コースを未修了の方も、防災基礎と他のコースを同時に申し込めることとします。ただし、同時申込の場合であっても、防災基礎を他のコースの演習開始までに修了することが必要です。

※当初は令和5年度第2期までを移行期間としていましたが、第1期で防災基礎コースの募集定員を超過する応募があったため、第2期では他のコースと同時申込での募集のみといたします（単独受講は募集しません）。それに伴い、令和6年度も引き続き防災基礎コースと他のコースと同時申込を可能とする予定です。

(3) 受講者の心構え

本研修においては、例年、受講定員を超過する応募をいただいております。受講者の抽選等を行わざるを得ない状況となっております。そのような中で受講決定されたにもかかわらず、研修途中に業務多忙等の安易な理由で中断する等の行為は、本研修の効率的な運営に支障を来すだけでなく、他の方の研修機会を奪い、地域の防災スペシャリスト養成の進展を妨げる行為となります。応募にあたっては、受講決定後の受講者としての責務を果たす心構えがあるか、熟慮の上で申し込みいただきますようお願いいたします。

(4) 所属組織からの受講への同意

応募の際は、ご自身の管理職またはそれに該当する方の承諾を得て、応募フォームにて「本研修の受講について、所属組織からの同意を得ている」ことをご回答ください。

5 受講方法

- ・本研修は、講義には「学習管理システム（以下、「LMS」という）」を使用し、以下に従って受講していただきます。受講に必要なものは「6 受講環境」に記載しています。

①講義の受講方法

- ・講義は LMS を使用し、LMS の案内に従って動画を視聴することで受講できます。
- ・LMS には「1 各コースの概要」に記載された講義期間中いつでもアクセスできます。
- ・LMS へのアクセス方法と ID・パスワードは、受講決定通知にてお知らせします。

6 受講環境

- ・受講環境は、受講者自身で確保していただくことを基本とします。

(1) 受講用端末の推奨環境

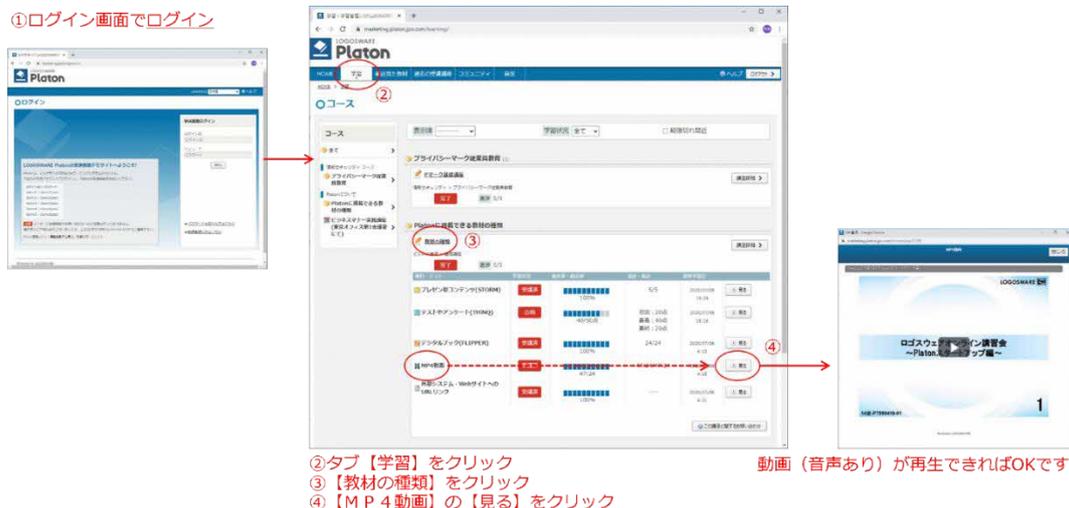
LMS の利用には、受講用端末（パソコン・スマートフォン／タブレット）が必要です。応募前に必ず、以下の推奨環境を確認し、受講用端末を準備できるか確認してください。

OS	最新の OS ご利用を推奨します。 【パソコン】（推奨） [Windows] ・Windows 10 [Mac] ・Mac OS X 11 以上 【スマートフォン／タブレット】 [iPhone/iPad] ・iOS14 以上、iPadOS14 以上 [Android] ・Android OS 10 以上
インターネット	インターネットへの接続環境が必要です。 ※動画閲覧には大容量のデータ通信が生じるため、 <u>固定回線を推奨</u> します。モバイル回線を使用される際は通信量にご注意ください。
Web ブラウザ	LMS へのアクセスには Web ブラウザが必要です。最新版のブラウザの使用を推奨します。 【パソコン】 [Windows] ・Edge、Chrome、Firefox（最新版） ※Internet Explorer は非対応です。 [Mac] ・Safari、Chrome 【スマートフォン／タブレット】 [iPhone/iPad] ・Safari [Android] ・Chrome

(2) LMS へのアクセス確認

以下のサイトで、当研修で利用する LMS を通じて講義動画が視聴できるか確認できます。

【URL】 <https://marketing.platon.jpn.com/> （Platon）※デモ画面が表示されます。



(3) 受講用端末の貸与

講義を受講可能な端末が用意できない場合は、事前申込みによりノート PC を無償で貸与します。（送料として 3,000 円を受講者にご負担いただきます。）受講コースの講義終了日の翌日までに宅配便で返却していただきますが、返却できなかった場合は事務局に延長料金として 1 万円をお支払いいただくこととなりますので、ご了承の上、お申込みください。

7 修了要件

- ・定められた期間内に全ての講義と演習を受講し、演習終了後の確認テストとアンケートを提出した方には、コースごとに修了認定を行います。
- ・防災基礎コースは演習を行わないため、確認テストとアンケートに全て回答することで、修了認定となります。
- ・修了認定の連絡は、最終確認テスト・アンケートの回答後、メールにて行います。
- ・修了証は LMS またはメールにより、PDF ファイル形式で発行します。

8 その他

- ・当該研修の詳細については、「防災スペシャリスト養成研修ホームページ」にて適宜情報提供いたします。（<https://bousai-ariake.jp>）
- ・本業務は、株式会社サイエンスクラフトに業務を委託しております。
- ・その他ご不明な点は、下記「研修に関する問合せ先」までご連絡ください。

【主催】

内閣府政策統括官（防災担当）付 参事官（地方・訓練担当）付
菊池・告・今井 電話：03-3503-2236（直通）

【研修に関する問合せ先】

〒102-0085 東京都千代田区六番町 13-7 中島ビル 2 階
（株）サイエンスクラフト 担当：武田・清水・塚本・石澤
電話：03-6261-5903 FAX：03-6261-5904 E-mail:kenshu@scraft.co.jp